

(別紙4(2))

事業所名 : グループホームやすらぎの家

目標達成計画

作成日: 平成 26年 10月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10)	個別の状況を記録に残し、ケア会議では職員が担当利用者を中心に意見交換を行っているが個別の介護計画書の作成が行われていない。サービス計画の見直しは6ヶ月毎に行う事が文書に示されている。	利用者や家族の意向を反映した個別計画作成や支援経過が、サービス計画作成書に落とし込み実施状況がわかるようにする。	①ケア会議は変化に気づいた時点で何度も会議をもち、介護計画書の随時作成や見直しも同時におこないます。 ②記録はその日のうちに完結することを鉄則とします。	6ヶ月
2	35 (13)	災害避難訓練について	火災や防災意識に対して避難方法を全職員で共有できるように実施記録はきちんと残します。	火災や防災対策についてのマニュアルを会議等を通して共有し、実施記録は全職員で確認します。	6ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

